

K A W A K A M I D A M 2007  
川上ダム通信 1月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL : 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

新春対談

この人に聞く！！伊賀市 今岡睦之市長  
～2007年 川上ダムに期待する～

三重県伊賀市／今岡 睦之市長

川上ダム建設所長／恒吉 徹

**所長**：伊賀市にとって合併後3年目になる今年はどのような年になるのでしょうか。

**市長**：地域、地域で、それぞれの歴史・文化を活かしながら町づくりをやらせてもらおうと考えています。そのために行政が一定のルールをつくる必要があります。17年、18年に一定の方向性、諸計画をつくってきました。19年度は各住民自治協議会の自主性を尊重した具体的な取り組みが始まるので、ジャンプの年です。

**所長**：私たちダム事業者としても地域の人たちと一緒にあって、地域の人たちの希望をダム事業として取り組んでいく方向がないかを考えています。ところで、ダム事業が遅れ遅れになっていますが、19年度は松阪青山線の道路を完成させる。そして、ダム計画をつくりあげるといふ具体的な法律の整備を行う年だと考えています。私どもに対する期待とかご指摘とかはありますか。

**市長**：水資源機構はもっと主体的に伊賀の治水と安全な水を安定供給するという課題を進めてもらいたいと思います。国の行政は地域のニーズに応じていかなければならないと思います。

**所長**：21年4月にはこの地域に給水を行うという水道計画も進められていますね。上野盆地の浸水被害の軽減、また21年4月の給水開始に向けた水道計画が大きな課題ということですね。水資源機構の事業には時間イコールお金というのがあります。

**市長**：タイムイズマネーですね。もし今、大きな被害が起きたら誰が責任をとってくれるのでしょうか。何度か災害が起こって、地域住民はある意味において犠牲的な気持ちになっています。だから遊水地や川上ダムがあります。

**所長**：私たちの事業は、時間とコストのことを考えて物事を進めていくことが非常に大事です。今年は正念場ですので、しっかり進めていきたいと思いません。よろしくお願いします。

**市長**：2007年は期待しています。しっかり頑張ってください。



恒吉所長



今岡市長



対談する今岡市長と恒吉所長

# 2007年にかける地元の思い

## 川上ダム建設促進期成同盟会会長 西山 甲平氏

昭和40年代中頃から上野遊水地事業に関わってこられた西山さんは、平成17年2月に発足した同盟会の会長を発足時から務められています。

今年、地域として望むことは、「付替道路の完成を早期に行ってもらい、最終目的であるダム本体の一刻も早い着工を望む。そのためには、国交省に早く基本計画を策定してもらうよう、水資源機構など関係機関とともに要望活動を行っていくことも必要」と話されました。

川上ダム建設促進期成同盟会としては、「地域の生の声を水資源機構や国交省に伝えていきたい。また、地域の人が川上ダムや“水”に対して身近に感じてもらえるよう認識を深めてもらい、情報共有ができる活動を行っていきたい」との話がありました。



インタビューに答える西山会長

## 川上地区ダム対策委員会委員長 古川 喜道氏

古川さんは昭和50年1月から現在に至るまで川上地区ダム対策委員会の委員長を務められています。

今年、地域が望む声として、「年末から年始にかけて、『ダムが満タンになるまでは死ねない』と頑張っていた人が3人も亡くなってしまった。もう待ちきれない、一刻も早くダムを完成させてほしい」と今の気持ちを語られました。

水資源機構への要望としては、「地元の声を水資源機構本社や国交省に対してどんどん上げてもらいたい」と話されました。



インタビューに答える古川委員長

## 新年あいさつ

**「今年も川上ダム事業をよろしくお願ひします。」**

**川上ダム建設所長 恒吉徹**

川上ダム調査所が発足したのが昭和57年8月、実に25年が過ぎようとしています。未だにダム本体工事に着手出来ていないことを心よりお詫びいたします。

川上ダム建設所にとって平成19年度は、県道松坂青山線（約5kmのダム区間）を完成させること、更に、関係機関と調整してダム事業計画を確定させること等に全力投球する年と考えております。

地域の熱い期待に応えるため、しっかりと舵取りをしていきますので引き続きのご支援をお願いします。みなさまにとって平成19年が実り多い年であることをお祈りいたします。

# 川上ダム建設促進期成同盟会会長等が川上ダムを視察



4号橋梁工事現場を視察する西山会長等

1月16日(火)、西山甲平川上ダム建設促進期成同盟会会長、川村直伊賀市東高倉地区長、鳥本慶一伊賀市西高倉自治会長の3名が川上ダムを視察されました。

試掘横坑では、実際に横坑内に入ってもらい、岩盤の硬さを肌で感じていただきました。「ここがダムの基礎になるのか、頑丈そうだ」といった声が聞かれました。

付替道路の4号橋梁工事現場では、視察当日は橋を送り出す準備作業を進めていたため、「橋が架かるのが楽しみだ」、「スケールの大きい工事だ」といった感想が聞かれました。

【総務課 武村剛泰】

## 安全祈願～無災害・無事故完工を願う～

1月9日(火)、川上ダム建設事業の無災害と無事故完工を願い、伊賀市阿保にある大村神社で安全祈願祭を執り行い、絵馬を奉納しました。大村神社には地震を鎮める要石が祭られ、地震除けとして昔から信仰を集めています。

川上ダム建設所では12月末時点で無災害労働時間が延べ11万時間を超えており、今後も安全には十分注意して事業の進捗を図ってまいります。

【調査設計課 立石浩行】



大村神社での安全祈願

## 川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線第5工区(その5)工事

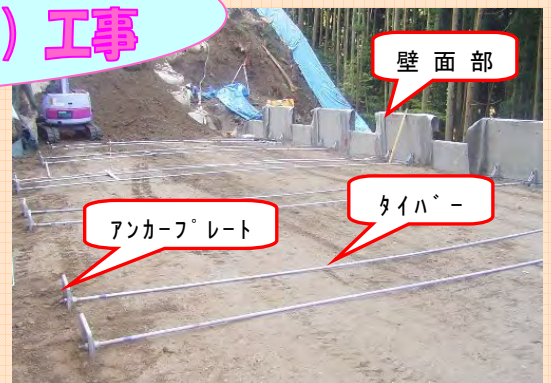
平成18年度の川上ダム建設事業に係る工事で現在施工中の付替県道松青線第5工区(その5)工事についてご紹介します。

本工事は急峻な山間部に幅員8mの道路を約240m造るもので、現在は峡谷部に擁壁を造る作業を行っています。構造については主として多数アンカー式補強土壁工法を採用しています。

この工法は、基礎となるコンクリートの上面に壁面材を設置し、棒状の引張り材(タイバー)と受圧板(アンカープレート)で壁面を引張ることにより盛土を安定させるもので、当現場の擁壁高さは最大で約12mにもなります。

本工事は平成19年3月の完成を目指して施工中です。作業は安全に配慮して行っていますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【工事課 山田英和】



補強土壁内部



全景

## ちよつとオオサンショウウオ！

幼生、<sup>かえ</sup>孵る

第4回で「びっぐにゅーす」としてお伝えしました、川上ダムのオオサンショウウオ保護池での産卵の確認のその後の状況をお知らせします。

保護池内の人工巣穴において、昨年10月2日に産卵を確認してから、約2ヶ月経過した11月末から12月初めにかけて幼生の孵化を確認しました。産卵が通常よりも約1ヶ月遅かったこともあり、季節は秋に移り、水温も低くなっていったことから、孵化も通常より時間がかかりました。産卵は300個程度（推定）でしたが、今回は孵化の割合が低く、確認できた孵化幼生は7個体で、現在は保護池に設置した水槽の中で4個体が成育しており、大切に育てているところです。（つづく） 【環境課長 大村朋広】



平成18年孵化幼生（H19.1.15撮影）

## 連載企画

《第⑤話その2 <sup>ちかた よんき</sup> 千万と四鬼の攻め戦》創作 <sup>あおちかたこ</sup> 『阿保千方湖物語』

数百人にすぎない軍勢でしたが、地の利があり、千方の巧みな戦術と四天王のはたらきで敵を翻弄。四天王は時に鬼の如く敵を攻めたため『四鬼』として後世に名を残しました。『伊賀忍者のはしり』とも言われています。

その様は、<sup>きんてんのう</sup>金天王は『金鬼』となり、堅固な身体は矢もはじき返すほど。矢面に立ち、「千の矢も万の矢も、わしを射ることはできまい」と、どんどん攻め入りました。<sup>すいでんのう</sup>水天王は『水鬼』となり、思うままに洪水を起こし、「きさまたちの欲しかった水をくれてやろう」と並みいる敵を溺れさせました。<sup>ふうてんのう</sup>風天王は『風鬼』となり、恐ろしい大風を起こし、「とつとと都へ帰るがいい。愚か者め」と敵陣をずたずたに吹き破りました。<sup>おんぎょうてんのう</sup>隠形天王は『隠形鬼』となり、姿を隠して、「何をぼやぼやしておる。目はついておるのか」と不意打ちをかけました。

奇戦法にしてやられた紀友雄は、「たかが数百の兵と甘くみていたが、千方と四天王は、やはりただ者ではなかった」と焦りを隠せませんでした。

一方、千方たちは「五万の兵で、あのありさまとは笑止千万。都人は、腰抜けばかりとみえる。わっはっは」と意気盛ん。次々と討ち取った敵の首を『<sup>ちこべい</sup>血首井』に投げ込み、斗入りの盃を『<sup>としかか</sup>斗盃が瀧』で洗い、酒盛りをしたということです。また『<sup>かえるいわ</sup>蛙岩』は当時の戦いで隠形鬼が大蛙に化けた名残として残っているそうです。（つづく）

[川上ダム建設所編集]

## EVENT

## 付替県道松青線4号橋上部工工事見学会

現在施工中の付替県道松青線4号橋上部工工事の見学会を開催します。本工事は先月号の工事紹介でお伝えしたように、橋を「送り出し工法」と呼ばれる工法で施工します。

見学会に参加を希望される方は川上ダム建設所総務課（TEL0595-52-1661〈代表〉）までご連絡下さい。

○日時／2月12日（月）川上ダム建設所集合  
13:00 集合と14:00 集合の2回実施します。

現場見学は約30分の予定です。

## 編集後記

19年年始にあたり、川上ダムに関わる3人の方に、対談、インタビューにお答えいただきました。

3人が共通して言われていたことは、「地域のために必要な川上ダムを一刻も早く完成させてほしい」ということでした。この声に応えるためにも職員一同、事業の推進に邁進してまいります。

## 【広報誌発行事務局】

編集長 恒吉 徹（川上ダム建設所長）  
デスク 上村 信幸（総務課長）  
" 北牧 正之（工務課長）  
通信記者 武村 剛泰（総務課）  
" 立石 浩行（調査設計課）